

第1期（平成28年3月期）決算公告

平成28年6月13日

東京都品川区東品川一丁目39番9号

株式会社セガ・ライブクリエイション

代表取締役会長兼社長 鶴見 尚也

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,924	流動負債	2,708
現金及び預金	648	買掛金	59
売掛金	175	関係会社短期借入金	18
仕掛品	331	未払金	833
貯蔵品	60	未払費用	413
前払費用	142	未払法人税等	21
関係会社短期貸付金	18	未払消費税	102
未収入金	415	前受金	1,181
立替金	95	預り金	16
繰延税金資産	29	賞与引当金	57
その他	6	その他	3
固定資産	3,949	固定負債	1,725
有形固定資産	1,075	関係会社長期借入金	211
建物	590	退職給付引当金	36
工具器具備品	38	預り保証金	10
アミューズメント施設機器	365	長期割賦未払金	788
建設仮勘定	80	繰延税金負債	44
その他	0	資産除去債務	630
無形固定資産	33	その他	5
ソフトウエア	32	負債合計	4,433
その他	1	(純資産の部)	
投資その他の資産	2,839	株主資本	1,439
関係会社株式	1,821	資本金	100
関係会社長期貸付金	227	資本剰余金	1,773
長期前払費用	4	資本準備金	-
敷金保証金	653	その他資本剰余金	1,773
繰延税金資産	122	利益剰余金	△ 434
その他	10	利益準備金	-
		その他利益剰余金	△ 434
		繰越利益剰余金	△ 434
資産合計	5,873	純資産合計	1,439
		負債及び純資産合計	5,873

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

(単位：百万円)

	科 目	金 額
I	売 上 高	6,012
II	売 上 原 価	5,283
	売 上 総 利 益	728
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,073
	営 業 利 益	△ 344
IV	営 業 外 収 益	
	受 取 利 息	2
	そ の 他	4
V	営 業 外 費 用	
	支 払 利 息 及 び 割 引 料	25
	為 替 差 損	67
	固 定 資 産 除 却 損	13
	そ の 他	0
	経 常 利 益	△ 444
VI	特 別 利 益	
	債 務 免 除 益	640
VII	特 別 損 失	
	減 損 損 失	97
	早 期 割 増 退 職 金	3
	税 引 前 当 期 純 利 益	95
	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	△ 296
	法 人 税 等 調 整 額	339
	当 期 純 利 益	52

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

自〔平成27年4月1日〕
至〔平成28年3月31日〕

(単位：百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他 利益 剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
当期首残高(注1)	100	-	1,773	1,773	-	-	-	1,873
当期変動額								
当期純利益	-	-	-	-	-	52	52	52
吸収分割による減少	-	-	-	-	-	△486	△486	△486
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△434	△434	△434
当期末残高	100	-	1,773	1,773	-	△434	△434	1,439

(注) 1. 平成27年4月1日付の新設分割により、株式会社セガゲームスより継承しております。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に関する注記

1-1 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

1) コンテンツ制作勘定…個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

2) その他のたな卸資産…移動平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

1-2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 (リース資産を除く)

定額法を採用しております。

② 無形固定資産 (リース資産を除く)

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5 年) に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとした定額法によっております。

1-3 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期業績年度における負担分を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末日における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末日において発生していると認められる額を計上しております。なお、数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による按分額を発生翌期から均等償却することとしております。

1-4 その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 連結納税制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を連結親法人とした連結納税制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済み株式数

平成 28 年 3 月 31 日現在

種 類	発行済株式の数 (株)
普通株式	1,000
合 計	1,000

3. その他に関する注記

3-1 減損損失

当期において、以下の資産グループについて減損損失を計上致しました。 (単位：百万円)

用 途	種 類	場 所	減損金額
アミューズメント施設	工具器具備品 等	神奈川県横浜市	97
合 計			97

当社はキャッシュフローを生み出す最小単位として、主として施設を基本単位としてグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び市場価額が著しく下落している資産グループの帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

3-2 資産除去債務

当社は店舗運営にあたり、賃貸借契約を締結しており、当該契約終了時の原状回復義務を有する固定資産に関し、資産除去債務を計上しております。

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は平均 9 年、割引率は 1.005%を採用しております。当事業年度における資産除去債務の残高の推移は次のとおりであります。

(単位：百万円)

期首残高 (注)	196
有形固定資産の取得に伴う増加	431
時の経過による調整額	2
資産除去債務の履行による減少額	-
期末残高	630

(注)平成 27 年 4 月 1 日の新設分割により、株式会社セガゲームスより承継しております。